

かしこく  
やさしく  
たくましく

直方第三中学校 学校だより  
文責 校長 坂田幸則

令和5年10月2日 第7号

## ◇善行報告

わが校の生徒が、地域で様々な善行（善い行い）をしているという報告がありましたので、紙面を借りてお知らせします。

### 〈その1〉

8月某日、部活動を終えた男子バスケット部の部員4名が下校中に、歩道でうすくまるおばあさんを見つけました。そこで、彼らは何か手助けはできないものかと考え、近くを通った自動車の運転手さんに、「おばあちゃんの具合が悪そうなんです。力を貸してください」と言って、その車におばあさんを乗せるのを手伝い、さらには家まで同乗していったそうです。

その一部始終を見ておられた地域の方がわざわざ、本校まで来校してくださり、「どうしてもこの感激を伝えたい」と職員室まで報告に来てくださいました。その目には涙が浮かべられていたそうです。

それほど、地域の方の心をゆれ動かしたその行動力に感服しました。誰でも、何か行動したいと思うことがあっても、いざその時になると「誰かがするだろう」と行動できないものです。聞いているこちらもうれしくなりました。

### 〈その2〉

9月某日、私が朝の交通整理をしていると、小学生の女子児童と一緒に歩いてくる女子生徒の姿がありました。聞くと「この子、何か事情があるみたいで、今から家まで送っていきます」とのこと。

その小学生は途中まで北小に向かっていたのですが、体調が悪いのか三中の方に（小学校とは逆方向に）戻ってきていたのです。

一緒に送ってくれたのは、3年生の生徒。何という優しさでしょう。その後、女兒を送り届け、何とか遅刻もせずに登校することができました。

さっそく私は、校長室に戻ると事の内容を北小学校の藤瀬校長先生にお伝えしたとこ

ろ、たいへん感激されていました。ぜひ、その生徒さんにもよろしくお伝えくださいとのことでした。また、放課後にはご丁寧にも、女兒の担任の先生からもお礼の電話がありました。

校長として、このような報告を聞くと、自分のことのようにたいへん誇らしく、うれしく思います。善いことをすると必ず良いことが返ってきます。良い言葉も「言霊」と言うように、良いことにつながります。多分、私の耳に届いていないだけで、他にも善行がいっぱいあると思います。もし、見かけたら教えてください。そして、ぜひこのような善行の輪を拡げていってください。

## ◇本校の学力実態について

令和5年4月18日に実施された、全国学力・学習状況調査（3年生対象）の結果が発表されました。

国語、数学ともにほぼ全国平均並みでした。英語については若干「話すこと」に課題が見られました。また、同じく6月20日に実施された、福岡県学力調査（1、2年生対象）についても、ほぼ県平均並みか上回る結果（2年生国語）となりました。この結果を受けて、9月6日（水）には早速教員対象の研修会を実施しました。熱のこもった研修会で、各教員が今後の学力向上策を真剣に協議しました。

## ◇避難訓練(地震) ……「備えあれば憂いなし」

9月22日（金）3校時

1学期に続いて、今回は「地震」を想定した避難訓練です。地震が起こったら、まずは自分の身の安全を確保することが大切です。ゆれが収まるまでは避難行動に移らず、机の下に入るなどして頭部を守ります。そして、ゆれが収まったら慌てず騒がず安全な場所に避難します。右は、担任が地震のしくみについての説明しているところです。

